S04 社会心理学と非意識過程

—意識, 非意識, そして感情が行動に及ぼす役割—

企画者	東洋大学	北村英哉
企画者	日本学術振興会・東洋大学	及川昌典
企画者	帝京大学	及川 晴
司会者	帝京大学	及川 晴
話題提供者	Utrecht University	Henk Aarts#
話題提供者	Utrecht University	Rund Custers#
話題提供者	日本学術振興会・東洋大学	及川昌典
指定討論者	東京大学	唐沢かおり

概 要

近年, 認知心理学, 社会心理学においては, 人の非意識過程に対する関心が高まり, さまざまな知覚, 注意, 記憶, 判断等の認知プロセスが非意識的に進展し, また, 互いに非意識的に影響を及ぼし合うことが示されてきた。さらに, 目標表象, 潜在動機づけなどの認知, 動機づけプロセスは, 非意識的に行動にも影響を及ぼすことが次第に知られるようになってきた。本年発刊された J.A.Bargh 編集の『社会心理学と無意識』(Psychology Press)にもひとつの章を執筆担当している Dr.Aarts とその共同研究者 Dr.Custers を招き, 日本において非意識的目標追求を研究している及川昌典氏と共に, 最新の研究の話題提供をしていただき, 非意識過程研究や目標に関わる自己制御について論じたい。指定討論者には, 社会的認知研究のトップランナーの一人唐沢かおり氏を迎え, 非意識過程を検討していく意義を討論し, さらに, これから取り扱わねばならない問題点などを整理して, 将来の研究への指針が見出せれば幸いである。